

授業科目	*助産診断・ケア学V(周産期のハイリスク)				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	MI21205J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-2 DP5-1			
担当教員	前田 幸、高島 健、柳井 繁章、古賀 玉緒							
授業概要	<p>正常経過から逸脱した妊娠・分娩・産褥各期の異常および検査・治療とケアに必要な知識・技術を解説する。また周産期に活用する医療機器の操作や検査・処置、データ判読について解説し、演習をとおして習得する。</p> <p>この講義は対面または遠隔にて実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周産期の異常および検査・治療について説明できる。</li> <li>2. 周産期の異常に基づく緊急時の対応法や、他職種との連携を説明できる。</li> <li>3. 周産期で活用する医療機器の操作や検査・データ判読について説明できる。</li> <li>4. 周産期の異常および疾患をもつ対象のケアを説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	90	0	10	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30						30	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)	60						60	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			10				10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準レベル1～4の全てについて、よく理解し、他の人に説明できる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周産期の異常および検査・治療について説明できる。</li> <li>2. 周産期の異常に基づく緊急時の対応法や、他職種との連携を説明できる。</li> <li>3. 周産期で活用する医療機器の操作や検査・データ判読について説明できる。</li> <li>4. 周産期の異常および疾患をもつ対象のケアを説明できる。</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	<p>テーマ: 妊娠期の異常 (柳井繁章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定義、ハイリスク妊娠のスクリーニング</li> <li>・異所性妊娠、妊娠悪阻、流産</li> <li>・若年妊娠、高齢妊娠、内科系合併妊娠</li> <li>・母児感染症 他</li> </ul> <p>について解説する。</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
2	<p>テーマ: 妊娠期の異常(柳井繁章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切迫早産、前期破水、羊水の異常、過期産 他</li> </ul> <p>について解説する。</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
3	<p>テーマ: 妊娠期の異常(柳井繁章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高血圧症候群、胎児機能不全 他</li> </ul> <p>について解説する。</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
4	<p>テーマ: 妊娠期の異常(柳井繁章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、血液型不 適合妊娠 他</li> </ul> <p>について解説する。</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
5	<p>テーマ: 分娩期の異常(高島健)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩の3要素の異常(産道、娩出力、胎児、胎児付 属物、胎児に起因する難産、遷延分娩など)</li> </ul> <p>について解説する。</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
6	<p>テーマ: 分娩期の異常(高島健)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩に伴う損傷、偶発疾患、合併症(軟産道損傷、 弛緩出血、産科ショック、合併症 他)</li> <li>・産科手術</li> </ul> <p>について解説する。</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
7	<p>テーマ: 分娩期の異常 (高島健)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の対応、早産、過期産</li> </ul> <p>について解説する。</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
8	<p>テーマ: 産褥期の異常 (高島健)</p> <p>産褥期におこる身体的・精神的な問題 について解説する。</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
9	<p>テーマ: 産褥期の異常 (高島健)</p> <p>産褥期におこる身体的・精神的な問題 について解説する。</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	30
10	<p>テーマ: 分娩期・産褥期の検査 (高島健)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期で活用する検査データ、超音波検査、ME 医 療機器の判読について解説する。 (CTG判読を中心に)</li> </ul>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
11	<p>テーマ: 北九州市における周産期医療システムについ て解説する。(高島健)</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
12	<p>テーマ: 分娩期の異常 (高島健)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩に伴う損傷・産科手術について解説する。</li> <li>・会陰裂傷縫合術: 模型を使用し、実際に縫合技術を 学ぶ。</li> </ul>	講義/演習	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p> <p>復習: 該当部分をまとめる。</p>	60
13	<p>テーマ: 妊婦・産婦・褥婦の異常時の観察・ケア(前田 幸)</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し テキストや配布資料を読んで おく。</p>	60

	・ハイリスク妊産褥婦の観察・ケア(心理的ケアも含む)について解説する。		復習:該当部分をまとめる。	
14	テーマ:妊婦・産婦・褥婦の異常時の観察・ケア(前田幸、古賀玉緒、林好美) 事例を用いて観察・ケアの実際について考える。 母体急変時の初期対応(ケア)について考える。	講義/演習	予習:テーマ・講義内容に関しテキストや配布資料を読んでおく。 復習:該当部分をまとめる。	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	他の授業を踏まえ、正常な妊・産・褥婦の身体的・精神的特性について把握しておきましょう。			
テキスト	助産学講座 6・7 助産診断・技術学 2 [1]妊娠期 [2]分娩・産褥期 我部山キヨ子他編 医学書院 病気が見える vol.10 産科 第4版 上田森生他編 MEDIC MEDIA 科学的根拠にもとづく快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 厚生労働科学研究妊娠出産ガイドライン研究班 金原出版株式会社 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020 発行:日本産婦人科学会 編集・監修:日本産婦人科学会/日本産婦人科医会			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて資料を配布します。			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	他の授業科目と関連づけて学習し、臨地実習で実践を通して確認するようにしましょう。講師と積極的に意見交換して下さい。
達成度評価に関するコメント	試験とレポートで評価します。レポートの詳細については授業の中で提示します。